

評価	考え方
○	取り組みを実施し、概ね目標を達成したと判断できるもの
△	取り組みは実施したが、目標の達成が不十分であったもの
×	取り組み未実施、もしくは目標の達成度合が著しく低いもの

I 地域医療構想を踏まえた取り組み

項目	令和元年度 取組内容	自己評価	今後の取り組み方向																								
1 病院・医療センターが担うべき役割	<p>(1) 地域医療構想が示す医療需要の変化に対応するため、各病院の機能、役割、特性を踏まえた、組合内病院及び他医療機関との連携推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>計画</th> <th>取組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 但馬圏域の中核病院として高度専門・急性期医療の提供 地域医療構想や患者動向を踏まえた病床機能の見直し、高度急性期機能の充実、回復期機能の導入検討 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 手術支援ロボット『ダヴィンチ』の症例拡大(従来の前立腺や腎の腫瘍手術のほか、新たに膀胱の腫瘍手術も適応症例とし、さらに外科や婦人科領域への拡大を検討中) 新たに病棟への薬剤師配置を行い診療機能を充実 地域医療支援病院として地域の開業医との連携を推進(地域医療支援病院の要件維持 紹介率 57.4%、逆紹介率 87.7%) </td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日高地区の地域医療を確保 人工透析及び眼科医療の提供 地域包括ケアシステムの医療拠点として地域の診療所等と連携し、訪問看護、訪問リハビリテーション等各種訪問サービスの提供 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 6月に一般病棟内に地域包括ケア病床12床を新設(11月～13床に増床) 医師増員(3人→5人)による眼科医療の充実(手術件数増 H30:1,030件 → R01:1,141件) 地域の診療所等との連携による在宅訪問サービス件数の増(訪問件数 H30:17.3人/日 → R01:25.2人/日) </td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 出石・但東地区の地域医療と救急医療を確保 豊岡病院の後送病院としての機能の充実 回復期機能の拡充 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床(18床)の稼働率向上(患者数増 H30:12人/日 → R01:14人/日) 豊岡病院からの積極的な転院受入(豊岡からの紹介患者数 H30:103人 → R01:91人 → R02.9月末:60人) レスパイト入院への対応強化(患者数増 H30:44人 → R01:47人) 地域包括ケア病床増床(18床→22床)による回復期機能の充実 </td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 朝来市域の中核病院として医療機能の充実 回復期機能の拡充 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床(27床)の稼働率向上(患者数増 H30:18人/日 → R01:19人/日) 時間外救急患者の受入強化(時間外患者数 H30:1,266人/年 → R01:1,441人/年) レスパイト入院への対応強化(患者数増 H30:8人 → R01:12人) </td> </tr> </tbody> </table>	病院名	計画	取組内容	豊岡	<ul style="list-style-type: none"> 但馬圏域の中核病院として高度専門・急性期医療の提供 地域医療構想や患者動向を踏まえた病床機能の見直し、高度急性期機能の充実、回復期機能の導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> 手術支援ロボット『ダヴィンチ』の症例拡大(従来の前立腺や腎の腫瘍手術のほか、新たに膀胱の腫瘍手術も適応症例とし、さらに外科や婦人科領域への拡大を検討中) 新たに病棟への薬剤師配置を行い診療機能を充実 地域医療支援病院として地域の開業医との連携を推進(地域医療支援病院の要件維持 紹介率 57.4%、逆紹介率 87.7%) 	日高	<ul style="list-style-type: none"> 日高地区の地域医療を確保 人工透析及び眼科医療の提供 地域包括ケアシステムの医療拠点として地域の診療所等と連携し、訪問看護、訪問リハビリテーション等各種訪問サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に一般病棟内に地域包括ケア病床12床を新設(11月～13床に増床) 医師増員(3人→5人)による眼科医療の充実(手術件数増 H30:1,030件 → R01:1,141件) 地域の診療所等との連携による在宅訪問サービス件数の増(訪問件数 H30:17.3人/日 → R01:25.2人/日) 	出石	<ul style="list-style-type: none"> 出石・但東地区の地域医療と救急医療を確保 豊岡病院の後送病院としての機能の充実 回復期機能の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床(18床)の稼働率向上(患者数増 H30:12人/日 → R01:14人/日) 豊岡病院からの積極的な転院受入(豊岡からの紹介患者数 H30:103人 → R01:91人 → R02.9月末:60人) レスパイト入院への対応強化(患者数増 H30:44人 → R01:47人) 地域包括ケア病床増床(18床→22床)による回復期機能の充実 	朝来	<ul style="list-style-type: none"> 朝来市域の中核病院として医療機能の充実 回復期機能の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床(27床)の稼働率向上(患者数増 H30:18人/日 → R01:19人/日) 時間外救急患者の受入強化(時間外患者数 H30:1,266人/年 → R01:1,441人/年) レスパイト入院への対応強化(患者数増 H30:8人 → R01:12人) 	○	<ul style="list-style-type: none"> (豊岡) 医療人材の確保と必要な設備投資等を行いながら、基幹病院として地域の医療需要に応じた高度専門機能を拡充していく。 また、但馬全域を対象とした救命救急センターや周産期医療センターの機能充実に努めていく。 (日高) 眼科機能の豊岡病院移転を進めるとともに、眼科移転後の病院機能についての検討を行う。 また、日高地区における地域包括ケアシステムの医療拠点として、医療と介護の機能連携を図るため、自院訪問看護ステーションのほか、他施設との連携を強化する等、さらなる機能の充実を進める。 (出石) 豊岡病院の後送病院として、退院患者の受入を更に強化していく。 (朝来) 朝来市域の中核病院として、医師確保(県養成医師増加を活用)に努めるとともに、地域包括ケア病床の増床や救急体制の強化に取り組む。 									
病院名	計画	取組内容																									
豊岡	<ul style="list-style-type: none"> 但馬圏域の中核病院として高度専門・急性期医療の提供 地域医療構想や患者動向を踏まえた病床機能の見直し、高度急性期機能の充実、回復期機能の導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> 手術支援ロボット『ダヴィンチ』の症例拡大(従来の前立腺や腎の腫瘍手術のほか、新たに膀胱の腫瘍手術も適応症例とし、さらに外科や婦人科領域への拡大を検討中) 新たに病棟への薬剤師配置を行い診療機能を充実 地域医療支援病院として地域の開業医との連携を推進(地域医療支援病院の要件維持 紹介率 57.4%、逆紹介率 87.7%) 																									
日高	<ul style="list-style-type: none"> 日高地区の地域医療を確保 人工透析及び眼科医療の提供 地域包括ケアシステムの医療拠点として地域の診療所等と連携し、訪問看護、訪問リハビリテーション等各種訪問サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に一般病棟内に地域包括ケア病床12床を新設(11月～13床に増床) 医師増員(3人→5人)による眼科医療の充実(手術件数増 H30:1,030件 → R01:1,141件) 地域の診療所等との連携による在宅訪問サービス件数の増(訪問件数 H30:17.3人/日 → R01:25.2人/日) 																									
出石	<ul style="list-style-type: none"> 出石・但東地区の地域医療と救急医療を確保 豊岡病院の後送病院としての機能の充実 回復期機能の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床(18床)の稼働率向上(患者数増 H30:12人/日 → R01:14人/日) 豊岡病院からの積極的な転院受入(豊岡からの紹介患者数 H30:103人 → R01:91人 → R02.9月末:60人) レスパイト入院への対応強化(患者数増 H30:44人 → R01:47人) 地域包括ケア病床増床(18床→22床)による回復期機能の充実 																									
朝来	<ul style="list-style-type: none"> 朝来市域の中核病院として医療機能の充実 回復期機能の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病床(27床)の稼働率向上(患者数増 H30:18人/日 → R01:19人/日) 時間外救急患者の受入強化(時間外患者数 H30:1,266人/年 → R01:1,441人/年) レスパイト入院への対応強化(患者数増 H30:8人 → R01:12人) 																									
2 組合内病院の連携推進に向けた取り組み	<p>(1) 組合内病院間の連携に係る課題に対して「医療監」による調整支援の推進</p> <p>① 医師の外来診療・当直応援 組合内病院間の連携・調整を図った。 [組合内病院間の応援状況]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">応援元</th> <th colspan="4">応援先</th> </tr> <tr> <th>豊岡</th> <th>日高</th> <th>出石</th> <th>朝来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td></td> <td>外来 内分泌糖尿内科 週1 皮膚科 週1</td> <td>外来 整形外科 週1 皮膚科 月2 当直 外科・整形外科・ 形成外科・泌尿器科・ 病理診断科</td> <td>外来 皮膚科 月2 心臓血管外科 月1 泌尿器科 週2 総合診療科 週1 当直 泌尿器科</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>外来 眼科 不定期</td> <td></td> <td>外来 整形外科 週1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>-</td> <td>健診 外科 週1</td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 組合内患者転院の連携強化 「病院間転院連携担当者会議」を継続して開催し、組合内病院間転院における問題要因等の把握と解消方法の検討について取り組み、その内容を各病院にフィードバックし、転院件数の増加を図った。(組合内病院間転院件数 H30:214件 → R01:251件)</p>	応援元	応援先				豊岡	日高	出石	朝来	豊岡		外来 内分泌糖尿内科 週1 皮膚科 週1	外来 整形外科 週1 皮膚科 月2 当直 外科・整形外科・ 形成外科・泌尿器科・ 病理診断科	外来 皮膚科 月2 心臓血管外科 月1 泌尿器科 週2 総合診療科 週1 当直 泌尿器科	日高	外来 眼科 不定期		外来 整形外科 週1	-	出石	-	健診 外科 週1		-	○	<ul style="list-style-type: none"> 組合内の医師応援、関連大学・県への要望、専門医制度への対応等、医師に係る諸課題について、副管理者による調整支援を継続する。
応援元	応援先																										
	豊岡	日高	出石	朝来																							
豊岡		外来 内分泌糖尿内科 週1 皮膚科 週1	外来 整形外科 週1 皮膚科 月2 当直 外科・整形外科・ 形成外科・泌尿器科・ 病理診断科	外来 皮膚科 月2 心臓血管外科 月1 泌尿器科 週2 総合診療科 週1 当直 泌尿器科																							
日高	外来 眼科 不定期		外来 整形外科 週1	-																							
出石	-	健診 外科 週1		-																							

項 目	令和元年度 取組内容	自己評価	今後の取り組み方向																																
	<p>(2)「院長・事務長会議」における、組合全体で対応すべき課題についての情報共有、対応策の策定・実施等に係る意思決定 ・毎月1回の頻度で定期開催し、経営状況や諸課題について議論・意思決定を行った。</p> <p>(3)「看護戦略会議」における、看護師に係る課題全般についての情報共有、対応策の策定・実施等に係る意思決定 ・毎月1回開催し、看護師に係る諸課題について議論・意思決定を行った。</p> <p>① 看護師確保方策 ア) 将来的な看護師確保を目的とした、地元学生等に対する啓発活動 出前講座 — 豊岡高校・八鹿高校・日高高校・和田山高校・村岡高校・香住高校・生野高校・峰山高校・宮津高校・海洋高校 見学受入 — 豊岡高校・出石高校 オープンスクール等ブース展示 — 日高高校 オープンホスピタル：8/16 高校生約60名（看護学生分は台風接近により中止） ふれあい看護体験：8/7-9（3校から38名） 12/24-26（9校から42名） イ) 看護師養成校訪問（日高高校、姫路大学） ウ) 看護師奨学金貸与者の確保（新規貸与者 H30：17人 → R01：16名）</p> <p>② 教育研修の充実 ア) 教育研修体制、キャリア支援の充実（階層別研修・新人教育体制の充実、認定看護師の育成等） ※認定看護師の専門領域・人数 救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、緩和ケア、訪問看護、感染管理、透析看護、手術看護、乳がん看護、小児看護、糖尿病看護、認知症看護、がん化学療法、慢性心不全、新生児集中ケア</p> <table border="1" data-bbox="519 867 1611 961"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>R01-H30</td> </tr> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>21人</td> <td>21人</td> <td>22人</td> <td>+1人</td> </tr> </table> <p>イ) 勤務間インターバルの確保に向けた勤務体制の検討</p>		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	認定看護師数	17人	19人	21人	21人	22人	+1人	○	<p>・毎月の経営状況報告と対応検討、諸課題への対応等を議論するため、今後も継続開催していく。</p> <p>・将来の看護人材の確保等、長期的な戦略立案や、勤務形態のあり方、経営改善策など、幅広い課題に対応するため、今後も継続開催していく。</p> <p>・看護戦略会議の構成職員である各地区医療センターの総看護師長を豊岡病院看護部の副看護部長として兼務させ、更なる連携・体制強化を図った。(R2年4月～)</p>																		
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																													
認定看護師数	17人	19人	21人	21人	22人	+1人																													
	<p>(4) 各医療技術職の職種別会議を定期開催するとともに統轄管理事務所職員が参画し、各部門の課題把握と適切な対応策の策定及び意思決定の推進 薬剤師、栄養士、検査技師、放射線技師、理学療法士、調理師、臨床工学技士など、職種ごとに病院間横断会議を定期開催し、職種別の業務（標準化、業務改善等）や経営改善、人材育成、病院間連携、有事の際応援体制などについて議論を行った。</p> <p>① 給食材料等の共同購入 給食材料の統一契約を拡充（R01：160品目 → R02：277品目）</p> <p>② 職員の病院間応援 臨床工学技士の豊岡病院と日高医療センターの一体的運用</p> <p>③ その他 病院組合の経営状況（予算・決算）を報告し、病院ごとの業務量比較等の財政に係る情報共有と協議を推進</p>	○	<p>・単一病院では取り組むことが難しい諸課題を組合全体で解決するため、今後も継続開催していく。</p> <p>・職種別会議で検討し実施している豊岡病院と医療センターとの兼務体制について、従来の検査技師・放射線技師・臨床工学技士に加え薬剤師にも拡充した。(R2年4月～)</p> <p>・新たに、豊岡病院臨床工学技術科による全病院の汎用医療機器の一元管理体制の構築を進めて行く。</p>																																
	<p>(5) 組合全体の連携による医療安全対策の強化 [豊岡病院医療安全管理室の活動]</p> <p>① 医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図るため、原因分析を行い、医療安全対策の妥当性について医療安全管理対策委員会で審議した。</p> <p>② 職員の資質向上研修の実施 講演会3回（組合内病院へ配信2回）、院内向け研修会8回、院内ラウンド（毎月）</p> <p>③ 医療安全管理者の育成（R01：看護師1名）</p> <p>④ 八鹿病院との相互院内ラウンドの実施、組合内医療センター（日高・出石・朝来）でラウンドを実施</p> <p>[ひやりはつと件数]</p> <table border="1" data-bbox="427 1711 997 1942"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>豊岡</td> <td>2,385件</td> <td>2,667件</td> <td>+282件</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>209件</td> <td>153件</td> <td>△56件</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>279件</td> <td>259件</td> <td>△20件</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>196件</td> <td>225件</td> <td>+29件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,069件</td> <td>3,304件</td> <td>+235件</td> </tr> </table> <p>[レベル3b以上（過誤・過失によるもの）]</p> <table border="1" data-bbox="1154 1711 1724 1795"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R01</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>豊岡</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>±0件</td> </tr> </table> <p>※レベル3b以上＝傷害の継続性または程度が重度であると判断されるもの</p>		H30	R01	増減	豊岡	2,385件	2,667件	+282件	日高	209件	153件	△56件	出石	279件	259件	△20件	朝来	196件	225件	+29件	計	3,069件	3,304件	+235件		H30	R01	増減	豊岡	5件	5件	±0件	○	<p>・豊岡病院医療安全管理室を中心に、組合内4病院の医療安全対策の強化継続を図る。</p> <p>・医療安全に係る最新知識やひやりはつと報告による事例の収集・分析を継続し、院内の医療事故発生防止対策を継続して講じていく。</p>
	H30	R01	増減																																
豊岡	2,385件	2,667件	+282件																																
日高	209件	153件	△56件																																
出石	279件	259件	△20件																																
朝来	196件	225件	+29件																																
計	3,069件	3,304件	+235件																																
	H30	R01	増減																																
豊岡	5件	5件	±0件																																

項目	令和元年度 取組内容	自己評価	今後の取り組み方向																																																															
3 地域医療機関の連携推進に向けた取り組み	<p>地域医療構想が求める但馬圏域医療機関の機能分化と連携を推進するため、病病連携及び病診連携を強化する</p> <p>(1) 但馬圏域公立病院間連絡会議の定期開催と但馬地域全体での機能分化と連携の推進を目的とする情報共有の推進</p> <p>① 年2回開催(7月、2月)</p> <p>② 各病院の平成30年度決算報告、新型コロナウイルス感染症対応の検討</p> <p>③ 患者数・診療単価等の情報を共有(毎月)</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想調整会議を補完すべく、公立病院が一堂に会した会議を今後も定期開催するとともに、情報共有を継続していく。 																																																															
	<p>(2) MSW(医療ソーシャルワーカー)・退院調整看護師の適正配置による退院支援の強化</p> <p>・(豊岡)医療福祉相談件数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>12,056件</td> <td>12,577件</td> <td>13,998件</td> <td>14,707件</td> <td>14,657件</td> <td>△50件</td> </tr> <tr> <td>(うち退院問題)</td> <td>9,036件</td> <td>9,039件</td> <td>10,821件</td> <td>11,473件</td> <td>11,578件</td> <td>+105件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・(豊岡)紹介率、逆紹介率の向上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>46.0%</td> <td>48.9%</td> <td>54.6%</td> <td>56.1%</td> <td>57.4%</td> <td>+1.3P</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>58.0%</td> <td>64.9%</td> <td>73.8%</td> <td>86.6%</td> <td>87.7%</td> <td>+1.1P</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] 地域医療支援病院の取得要件: 紹介率 50%、逆紹介率 70%</p> <p>*紹介率: 他の病院・診療所から紹介状を持参され来院した患者の割合(初診患者(救急車搬送の患者、夜間・休日に救急受診をした外来患者を除く)に限る)</p> <p>*逆紹介率: 当院から他の病院・診療所に紹介した患者の割合</p> <p>・MSW配置数の推移(正規・臨時合計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>△1人</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	相談件数	12,056件	12,577件	13,998件	14,707件	14,657件	△50件	(うち退院問題)	9,036件	9,039件	10,821件	11,473件	11,578件	+105件		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	紹介率	46.0%	48.9%	54.6%	56.1%	57.4%	+1.3P	逆紹介率	58.0%	64.9%	73.8%	86.6%	87.7%	+1.1P		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	豊岡	6人	6人	7人	9人	8人	△1人	朝来	1人	1人	1人	1人	1人	0人	○	<ul style="list-style-type: none"> (豊岡) H30年10月に設置した入院支援センターを入退院支援センターへ機能拡充する。 様々な転院先との情報共有・連携に向けた施策を継続する。
		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																											
相談件数	12,056件	12,577件	13,998件	14,707件	14,657件	△50件																																																												
(うち退院問題)	9,036件	9,039件	10,821件	11,473件	11,578件	+105件																																																												
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																												
紹介率	46.0%	48.9%	54.6%	56.1%	57.4%	+1.3P																																																												
逆紹介率	58.0%	64.9%	73.8%	86.6%	87.7%	+1.1P																																																												
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																												
豊岡	6人	6人	7人	9人	8人	△1人																																																												
朝来	1人	1人	1人	1人	1人	0人																																																												
<p>(3) 組合全体で発信・管理する情報の迅速な広報及び病院毎の情報発信の強化</p> <p>① 広報誌「ほすびたる」(6回/年)、病院診療情報誌(1回/年)、医療連携ニュース(豊岡12回/年、朝来5回/年)の発行 ※より早く医師体制をお知らせするために病院診療情報誌(医師名簿版)を新たに配布(4月)</p> <p>② ホームページの定期更新(最新情報をトップページにアップ)</p> <p>③ (朝来)朝来市ケーブルテレビで病院情報(医師増員、検査枠増、受診案内等)の発信継続</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 見る人、聞く人にわかりやすい広報に努める。 																																																																

II 経営効率化のための取り組み

項目	令和元年度 取組結果	自己評価	今後の取り組み方向
1 経営指標に係る数値目標の設定	(資料2 決算概要、資料3 決算評価表(収益的収支) 参照)		
2 医師確保の取り組み	<p>(1) 「医師育成・研修支援センター」の活性化による教育研修の充実</p> <p>① 医師確保戦略会議を定期開催し医師招聘や確保対策等について協議した(2回/年)。</p> <p>② テレビ会議システムを活用した研修を継続開催した(41回/年)</p> <p>③ 学会年会費や専門医取得費用の支援継続</p> <p>④ 医師の事務作業負担軽減の継続(医療クラーク数44名(平成31年4月現在))</p> <p>⑤ 講演等による教育環境の充実</p> <p>⑥ 地元出身医師の確保・定着を図るために地域要件を追加するなど医師修学資金貸与条例の改正を実施した</p> <p>⑦ 新たに修学資金貸与学生に対するキャリア形成プログラムを作成した</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き医師の教育研修環境の充実に取り組む。

項目	令和元年度 取組結果	自己評価	今後の取り組み方向																																																																																																							
	<p>(2) 新・専門医制度へ適切に対応</p> <p>① (豊岡) 専門研修プログラムの申請 (内科・救急・総合診療)</p> <p>② (豊岡) 15 領域の専門研修が可能</p> <p>③ (医療センター) 総合診療、眼科など地域に必要な 4 領域の専門研修が可能</p> <p>④ 組合全体で 9 領域に 24 名の専攻医(県養成医を含む)を受け入れた (平成 31 年 4 月現在)</p> <p>⑤ 兵庫県養成医特定診療科コースや都市部の基幹施設との新規連携を行った</p> <p>(3) 医師確保方策の充実</p> <p>① 京都大・神戸大・三重大等の医局への働きかけの継続 令和元年度末 豊岡病院常勤医師 137 人</p> <p>[常勤医不在の診療科 (R02 年 4 月)] 豊岡：リウマチ科 (R02 年 4 月～ 京大寄附講座開始)、血液内科、腎臓内科、耳鼻咽喉科</p> <p>② 増加が見込まれる兵庫県養成医師の確保要望 (専門研修プログラム上の新規連携、指導的医師の確保) の継続 [県養成医師の推移]</p> <table border="1" data-bbox="448 722 1896 1360"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 (2016)</th> <th>H29 (2017)</th> <th>H30 (2018)</th> <th>R01 (2019)</th> <th>R02 (2020)</th> <th>R05 (2023)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>兵庫県養成医数 (県下)</td> <td>後期派遣 5 後期研修 5 前期派遣 16 前期研修 22</td> <td>後期派遣 3 後期研修 10 前期派遣 16 前期研修 28</td> <td>後期派遣 5 後期研修 11 前期派遣 23 前期研修 33</td> <td>後期派遣 9 後期研修 10 前期派遣 31 前期研修 37</td> <td>後期派遣 11 後期研修 11 前期派遣 43 前期研修 42</td> <td>後期派遣 18 後期研修 31 前期派遣 61 前期研修 43</td> </tr> <tr> <td>豊岡病院・総合診療科</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 4</td> <td>前期派遣 5</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 5</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 5</td> <td>後期派遣 0 前期派遣 6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・循環器内科</td> <td>前期派遣 1</td> <td>前期派遣 1</td> <td></td> <td></td> <td>後期派遣 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小児科</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>前期派遣 1</td> <td>前期派遣 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・精神科</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>前期派遣 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・前期研修 (研修医)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日高医療センター・内科</td> <td></td> <td></td> <td>前期派遣 1</td> <td>前期派遣 1</td> <td>前期派遣 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出石医療センター・内科</td> <td>前期派遣 1</td> <td>前期派遣 1</td> <td>前期派遣 1</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 1</td> <td>前期派遣 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>朝来医療センター・内科</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 1</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 1</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 2</td> <td>前期派遣 2</td> <td>後期派遣 1 前期派遣 2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総合計</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>前期研修 (研修医)：卒後 1～2 年目、前期派遣：卒後 3～5 年目、後期研修：卒後 6～7 年目、後期派遣：卒後 8～9 年目</p>		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R01 (2019)	R02 (2020)	R05 (2023)	兵庫県養成医数 (県下)	後期派遣 5 後期研修 5 前期派遣 16 前期研修 22	後期派遣 3 後期研修 10 前期派遣 16 前期研修 28	後期派遣 5 後期研修 11 前期派遣 23 前期研修 33	後期派遣 9 後期研修 10 前期派遣 31 前期研修 37	後期派遣 11 後期研修 11 前期派遣 43 前期研修 42	後期派遣 18 後期研修 31 前期派遣 61 前期研修 43	豊岡病院・総合診療科	後期派遣 1 前期派遣 4	前期派遣 5	後期派遣 1 前期派遣 5	後期派遣 1 前期派遣 5	後期派遣 0 前期派遣 6		・循環器内科	前期派遣 1	前期派遣 1			後期派遣 1		・小児科				前期派遣 1	前期派遣 1		・精神科					前期派遣 1		・前期研修 (研修医)	3	2	4	6	5		日高医療センター・内科			前期派遣 1	前期派遣 1	前期派遣 1		出石医療センター・内科	前期派遣 1	前期派遣 1	前期派遣 1	後期派遣 1 前期派遣 1	前期派遣 2		朝来医療センター・内科	後期派遣 1 前期派遣 1	後期派遣 1 前期派遣 1	後期派遣 1 前期派遣 2	前期派遣 2	後期派遣 1 前期派遣 2		総合計	12	11	15	18	20		<p>○</p> <p>△</p>	<p>・専門医プログラムの連携病院となることにより、医師が不足する領域で専攻医を確保できるよう引き続き努める。</p> <p>・医局への働きかけの継続 ・県養成医師の増員配置を引き続き要望する。 ・医療センターの後継医師の確保に引き続き努める。 ・その他、現在の取組を継続させる</p> <p>③ 医師修学資金貸与制度の活用 ア 医師就学資金貸与条例の改正 (R2. 4～) 医療を担う人材の育成及び確保・定着を図るため、医師修学資金の貸与を受ける者を但馬地域又は丹後地域において就学又は在任歴を有する者を原則とし、医師免許取得後概ね 10 年以内に 6 年間勤務する制度に変更。 イ 医師修学資金貸与医学生生の確保 [医師修学資金新規貸与者の推移]</p> <table border="1" data-bbox="2065 940 2807 1020"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規貸与者</td> <td>4 人</td> <td>1 人</td> <td>5 人</td> <td>2 人</td> <td>3 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>[令和元年度末 医師修学資金貸与状況]</p> <table border="1" data-bbox="2065 1075 2638 1304"> <thead> <tr> <th colspan="2">制度利用者総数 (H16 年度～累計)</th> <th>50 人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">内 訳</td> <td>医学部在学中</td> <td>18 人</td> </tr> <tr> <td>組合立病院勤務</td> <td>7 人</td> </tr> <tr> <td>外部研修中</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td>義務年限満了</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>中途離脱</td> <td>9 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 県養成医師 OB や但馬出身医師等への継続的アプローチ ⑤ 医師紹介会社の活用 (病理診断医 1 名 (非常勤) の確保) ⑥ 県立尼崎総合医療センターとの医師の相互派遣 (総合診療科、救急集中治療科) ⑦ 医学部を志望する地元高校生への PR (出前授業・エクスターンシップ)</p>		H27	H28	H29	H30	R01	新規貸与者	4 人	1 人	5 人	2 人	3 人	制度利用者総数 (H16 年度～累計)		50 人	内 訳	医学部在学中	18 人	組合立病院勤務	7 人	外部研修中	11 人	義務年限満了	5 人	中途離脱	9 人
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R01 (2019)	R02 (2020)	R05 (2023)																																																																																																				
兵庫県養成医数 (県下)	後期派遣 5 後期研修 5 前期派遣 16 前期研修 22	後期派遣 3 後期研修 10 前期派遣 16 前期研修 28	後期派遣 5 後期研修 11 前期派遣 23 前期研修 33	後期派遣 9 後期研修 10 前期派遣 31 前期研修 37	後期派遣 11 後期研修 11 前期派遣 43 前期研修 42	後期派遣 18 後期研修 31 前期派遣 61 前期研修 43																																																																																																				
豊岡病院・総合診療科	後期派遣 1 前期派遣 4	前期派遣 5	後期派遣 1 前期派遣 5	後期派遣 1 前期派遣 5	後期派遣 0 前期派遣 6																																																																																																					
・循環器内科	前期派遣 1	前期派遣 1			後期派遣 1																																																																																																					
・小児科				前期派遣 1	前期派遣 1																																																																																																					
・精神科					前期派遣 1																																																																																																					
・前期研修 (研修医)	3	2	4	6	5																																																																																																					
日高医療センター・内科			前期派遣 1	前期派遣 1	前期派遣 1																																																																																																					
出石医療センター・内科	前期派遣 1	前期派遣 1	前期派遣 1	後期派遣 1 前期派遣 1	前期派遣 2																																																																																																					
朝来医療センター・内科	後期派遣 1 前期派遣 1	後期派遣 1 前期派遣 1	後期派遣 1 前期派遣 2	前期派遣 2	後期派遣 1 前期派遣 2																																																																																																					
総合計	12	11	15	18	20																																																																																																					
	H27	H28	H29	H30	R01																																																																																																					
新規貸与者	4 人	1 人	5 人	2 人	3 人																																																																																																					
制度利用者総数 (H16 年度～累計)		50 人																																																																																																								
内 訳	医学部在学中	18 人																																																																																																								
	組合立病院勤務	7 人																																																																																																								
	外部研修中	11 人																																																																																																								
	義務年限満了	5 人																																																																																																								
	中途離脱	9 人																																																																																																								
<p>3 収益確保の取り組み</p>	<p>(1) 患者数増加</p> <p>① 引き続き、医療体制の充実や病診連携・組合内病院連携の推進、医療機能に係る広報により患者数増加に取り組んだ。 [1 日当たり患者数 (入院)] (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="424 1633 1507 1864"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>446</td> <td>443</td> <td>460</td> <td>438</td> <td>441</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>55</td> <td>50</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>30</td> <td>+4</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>±0</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>96</td> <td>98</td> <td>91</td> <td>96</td> <td>98</td> <td>+2</td> </tr> <tr> <td>事業合計</td> <td>630</td> <td>620</td> <td>609</td> <td>590</td> <td>599</td> <td>+9</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	豊岡	446	443	460	438	441	+3	日高	55	50	25	26	30	+4	出石	33	29	33	30	30	±0	朝来	96	98	91	96	98	+2	事業合計	630	620	609	590	599	+9	<p>○</p>	<p>・医療機能に係る広報強化による紹介率の向上や病状に応じた組合内病院間での連携強化、また、地域包括ケア病床の効率的な活用等により患者数増加に努める。</p>																																																													
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																																																																				
豊岡	446	443	460	438	441	+3																																																																																																				
日高	55	50	25	26	30	+4																																																																																																				
出石	33	29	33	30	30	±0																																																																																																				
朝来	96	98	91	96	98	+2																																																																																																				
事業合計	630	620	609	590	599	+9																																																																																																				

項目	令和元年度 取組結果												自己評価	今後の取り組み方向	
	[新規患者数(入院)] (単位:人)														
		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30								
	豊岡	9,939	10,209	10,380	10,011	10,009	△2								
	日高	1,916	2,053	1,275	1,264	1,439	+175								
	出石	574	544	663	604	641	+37								
	朝来	1,413	1,427	1,356	1,342	1,238	△104								
	事業合計	13,842	14,233	13,674	13,221	13,327	+106								
	[1日当たり患者数(外来)] (単位:人)														
		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30								
	豊岡	960	976	980	962	965	+3								
	日高	311	298	275	274	277	+3								
	出石	78	75	70	70	68	△2								
	朝来	240	229	242	253	252	△1								
	事業合計	1,589	1,578	1,567	1,559	1,562	+3								
	[(豊岡)救急受入患者数] (単位:人)														
		H27		H28		H29		H30		R01		R01-H30			
		入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来		
	救急車	1,709	2,907	1,824	2,895	1,824	3,158	1,792	3,148	1,964	3,155	+172	+7		
	ウォークイン	1,108	8,983	1,112	8,404	1,197	8,426	1,184	8,362	1,184	8,347	±0	△15		
	ドクターヘリ	684	570	735	634	804	729	728	690	650	600	△78	△90		
	計	3,501	12,460	3,671	11,933	3,825	12,313	3,704	12,200	3,798	12,102	+94	△98		
	入外計	15,961		15,604		16,138		15,904		15,900		△4			
	(2) 診療単価の向上														
	① 引き続き、医療機能に見合った施設基準、各種加算、管理料の取得による診療単価向上に取り組んだ。														
	[入院単価] (税込、単位:円)														
		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30								
	豊岡	53,691	56,917	57,687	59,633	59,430	△203								
	日高	36,116	38,717	43,098	46,428	48,049	+1,621								
	出石	24,968	26,478	27,381	27,506	28,591	+1,085								
	朝来	25,522	26,991	28,121	29,862	28,408	△1,454								
	事業合計	46,367	49,312	51,023	52,575	52,258	△317								
	[平均在院日数(入院)] (単位:日)														
		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30								
	豊岡 ※精神除く	14.3	13.9	14.1	14.1	14.4	+0.3								
	日高	9.6	7.8	6.1	6.5	6.8	+0.3								
	出石	19.8	18.5	17.4	16.8	16.1	△0.7								
	朝来	23.7	23.9	19.6	20.3	23.0	+2.7								
	[(豊岡)機能評価係数Ⅱ] 主な係数のみ														
		保険診療係数	効率性係数	複雑性係数	カバー率係数	救急医療係数	地域医療係数	計	順位※						
	H30	0.01617	0.01397	0.02285	0.02176	0.03395	0.04400	0.1527	全国1位						
	R01	0.01605	0.01469	0.02248	0.02153	0.03301	0.04444	0.1522	全国1位						
	R02	0.01575	0.01582	0.02226	0.01940	0.03401	0.04235	0.1496	全国1位						
	※大学病院や大病院を除いた約1,500病院(標準病院群)の中での順位														
		[(豊岡)クリニカルパス数]													
			種類(入院)												
		H29	99												
		H30	107												
		R01	122												

項 目	令和元年度 取組結果	自己評価	今後の取り組み方向																																																																																																			
	<p>[外来単価] (税込、単位：円)</p> <table border="1" data-bbox="418 201 1507 432"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>14,156</td> <td>14,856</td> <td>15,128</td> <td>16,408</td> <td>17,637</td> <td>+1,229</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>15,725</td> <td>15,376</td> <td>15,828</td> <td>16,577</td> <td>17,435</td> <td>+858</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>7,968</td> <td>7,922</td> <td>7,915</td> <td>8,241</td> <td>8,730</td> <td>+489</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>10,392</td> <td>7,394</td> <td>7,067</td> <td>7,231</td> <td>7,289</td> <td>+58</td> </tr> <tr> <td>事業合計</td> <td>13,590</td> <td>13,543</td> <td>13,685</td> <td>14,584</td> <td>15,545</td> <td>+961</td> </tr> </tbody> </table> <p>[令和元年度に取得した施設基準（主なもの）]</p> <table border="1" data-bbox="418 499 1947 699"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>名 称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>病棟薬剤業務実施加算、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)、新生児特定集中治療室管理料Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>地域包括ケア入院医療管理料Ⅱ、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>急性期一般入院料ⅤからⅣへランクアップ (R02.1より)</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>後発医薬品使用体制加算Ⅳ</td> </tr> </tbody> </table> <p>[手術件数] (単位：件)</p> <table border="1" data-bbox="418 762 1495 951"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>3,665</td> <td>4,103</td> <td>4,256</td> <td>4,109</td> <td>4,107</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>1,379</td> <td>1,661</td> <td>1,075</td> <td>1,047</td> <td>1,158</td> <td>+111</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>419</td> <td>445</td> <td>459</td> <td>418</td> <td>407</td> <td>△11</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,463</td> <td>6,209</td> <td>5,790</td> <td>5,574</td> <td>5,672</td> <td>+98</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（豊岡）ロボット支援下手術件数 H29：20件 → H30：92件 → R01：82件</p>		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	豊岡	14,156	14,856	15,128	16,408	17,637	+1,229	日高	15,725	15,376	15,828	16,577	17,435	+858	出石	7,968	7,922	7,915	8,241	8,730	+489	朝来	10,392	7,394	7,067	7,231	7,289	+58	事業合計	13,590	13,543	13,685	14,584	15,545	+961	病院名	名 称	豊岡	病棟薬剤業務実施加算、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)、新生児特定集中治療室管理料Ⅰ	日高	地域包括ケア入院医療管理料Ⅱ、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算	出石	急性期一般入院料ⅤからⅣへランクアップ (R02.1より)	朝来	後発医薬品使用体制加算Ⅳ		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	豊岡	3,665	4,103	4,256	4,109	4,107	△2	日高	1,379	1,661	1,075	1,047	1,158	+111	朝来	419	445	459	418	407	△11	合計	5,463	6,209	5,790	5,574	5,672	+98		<p>[参考]</p> <p>①診療報酬に関する専門知識を有した職員（組合外の医療機関勤務経験者、診療情報管理士等）の適正配置 [診療情報管理士数の推移] (年度末時点)</p> <table border="1" data-bbox="2041 604 2813 688"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療情報管理士</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> <td>14人</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※診療情報管理士：医療機関における患者の様々な診療情報を中心に人の健康に関する情報を国際統計分類等に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析し、様々なニーズに適した情報を提供する専門職種</p> <p>②病院経営管理士の継続育成（令和元年度末2人） ※病院経営管理士：病院という組織医療を実践する上で必要な多くの知識を有し、病院管理運営を円滑かつ積極的に実行する能力および適応力をそなえた専門職種</p>		H27	H28	H29	H30	R01	診療情報管理士	8人	9人	11人	14人	14人
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																																																																
豊岡	14,156	14,856	15,128	16,408	17,637	+1,229																																																																																																
日高	15,725	15,376	15,828	16,577	17,435	+858																																																																																																
出石	7,968	7,922	7,915	8,241	8,730	+489																																																																																																
朝来	10,392	7,394	7,067	7,231	7,289	+58																																																																																																
事業合計	13,590	13,543	13,685	14,584	15,545	+961																																																																																																
病院名	名 称																																																																																																					
豊岡	病棟薬剤業務実施加算、腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)、新生児特定集中治療室管理料Ⅰ																																																																																																					
日高	地域包括ケア入院医療管理料Ⅱ、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算																																																																																																					
出石	急性期一般入院料ⅤからⅣへランクアップ (R02.1より)																																																																																																					
朝来	後発医薬品使用体制加算Ⅳ																																																																																																					
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																																																																
豊岡	3,665	4,103	4,256	4,109	4,107	△2																																																																																																
日高	1,379	1,661	1,075	1,047	1,158	+111																																																																																																
朝来	419	445	459	418	407	△11																																																																																																
合計	5,463	6,209	5,790	5,574	5,672	+98																																																																																																
	H27	H28	H29	H30	R01																																																																																																	
診療情報管理士	8人	9人	11人	14人	14人																																																																																																	
4 費用抑制の取り組み	<p>(3) その他の取り組み</p> <p>① 未収金防止・回収マニュアルに基づき、未収金を発生させない取組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> （豊岡）未収金回収専従職員の配置（H17～） 自主回収困難債権は弁護士事務所へ回収委託（H25～） <p>[年度末未収金（患者負担分）] (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="418 1203 1495 1434"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R01</th> <th>R01-H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>97,854</td> <td>54,565</td> <td>70,322</td> <td>61,328</td> <td>61,977</td> <td>649</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>906</td> <td>811</td> <td>691</td> <td>505</td> <td>515</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>28</td> <td>188</td> <td>134</td> <td>192</td> <td>310</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>952</td> <td>884</td> <td>737</td> <td>932</td> <td>1,230</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>99,740</td> <td>56,448</td> <td>71,884</td> <td>62,957</td> <td>64,032</td> <td>1,075</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末未収金（患者負担分）：入院未収金、外来未収金（一般）、外来未収金（訪問看護）のうち患者負担に係る未収金。ただし、3月請求分、クレジットカード及びプレミアム付商品券利用分を除く</p> <p>②（朝来）新たにタオル・日用品等のセットレンタルサービスを導入し患者サービス向上に取り組んだ（1月）</p>		H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30	豊岡	97,854	54,565	70,322	61,328	61,977	649	日高	906	811	691	505	515	10	出石	28	188	134	192	310	118	朝来	952	884	737	932	1,230	298	合計	99,740	56,448	71,884	62,957	64,032	1,075	○	<ul style="list-style-type: none"> 未収金の早期回収に努めるとともに、新たな収入確保策として遊休資産の売却等を進めて行く。 																																																									
	H27	H28	H29	H30	R01	R01-H30																																																																																																
豊岡	97,854	54,565	70,322	61,328	61,977	649																																																																																																
日高	906	811	691	505	515	10																																																																																																
出石	28	188	134	192	310	118																																																																																																
朝来	952	884	737	932	1,230	298																																																																																																
合計	99,740	56,448	71,884	62,957	64,032	1,075																																																																																																
	<p>(1) 給与費比率の改善</p> <p>① 職務職階に応じた給料表（国準拠）への改正（看護職及び技能労務職）による給与単価の適正化</p> <p>[給与費の増加要因]</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事院勧告の実施（令和元年度影響額 約34,000千円） （豊岡）業務拡大等に伴う人員配置の増（医療技術） （豊岡）出張診療医師の増加（対平成30年度+29百万円、精神科・腎臓内科等） <p>[令和元年度出張診療賃金・旅費] (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="418 1881 1457 1959"> <thead> <tr> <th></th> <th>豊岡</th> <th>日高</th> <th>出石</th> <th>朝来</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出張診療賃金・旅費</td> <td>317,556</td> <td>66,083</td> <td>8,090</td> <td>39,110</td> <td>430,839</td> </tr> </tbody> </table>		豊岡	日高	出石	朝来	合計	出張診療賃金・旅費	317,556	66,083	8,090	39,110	430,839	○	<ul style="list-style-type: none"> 定数については、診療機能や患者数を踏まえたダウンサイジング等の検討。 給与水準については、人事院勧告や経営状況等を踏まえた適正化を推進。 																																																																																							
	豊岡	日高	出石	朝来	合計																																																																																																	
出張診療賃金・旅費	317,556	66,083	8,090	39,110	430,839																																																																																																	

項 目	令和元年度 取組結果	自己評価	今後の取り組み方向																		
	<p>(2) 材料費比率の抑制</p> <p>① 給食材料一括購入品目の拡大 (調味料等の追加)</p> <p>② 全自病データを活用した薬品卸業者との値引き交渉の強化</p> <p>③ 後発医薬品への切り替え 〔(豊岡) 後発医薬品採用割合〕</p> <table border="1" data-bbox="418 346 1359 499"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27. 10~H28. 9</th> <th>H28. 10~H29. 9</th> <th>H29. 10~H30. 9</th> <th>H30. 10~R01. 9</th> <th>R01. 10~R02. 8 (途中経過)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用量</td> <td>1, 207, 157</td> <td>1, 329, 960</td> <td>1, 338, 331</td> <td>1, 488, 688</td> <td>1, 399, 257</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>74. 96%</td> <td>79. 93%</td> <td>81. 39%</td> <td>80. 07%</td> <td>81. 38%</td> </tr> </tbody> </table>		H27. 10~H28. 9	H28. 10~H29. 9	H29. 10~H30. 9	H30. 10~R01. 9	R01. 10~R02. 8 (途中経過)	使用量	1, 207, 157	1, 329, 960	1, 338, 331	1, 488, 688	1, 399, 257	割合	74. 96%	79. 93%	81. 39%	80. 07%	81. 38%	△	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品等、同種同効で安価な材料への切り替えを引き続き進める。 薬品契約方法の変更 (1 メーカー1 卸制) を進める。 診材の全国共同購入による価格低減を検討する。 給食材料の統一品目の拡大を検討する。
	H27. 10~H28. 9	H28. 10~H29. 9	H29. 10~H30. 9	H30. 10~R01. 9	R01. 10~R02. 8 (途中経過)																
使用量	1, 207, 157	1, 329, 960	1, 338, 331	1, 488, 688	1, 399, 257																
割合	74. 96%	79. 93%	81. 39%	80. 07%	81. 38%																
	<p>(3) 経費比率の抑制</p> <p>① (豊岡) 放射線機器の保守統一化による価格低減、コスト削減 (R02 年度開始)</p> <p>② 4 病院統一契約の継続 (廃棄物処分、遠隔画像診断、在宅医療機器借上、寝具・病衣・看護師被服借上、A 重油等)</p>	△	<ul style="list-style-type: none"> 放射線機器の保守統一化の対象機器、対象病院を順次拡大する等、更なる経費節減方法の検討を進める。 																		
	<p>(4) 減価償却費比率の平準化</p> <p>① 継続して後年度の減価償却費率への影響を踏まえた投資予算の予算編成を行った。</p> <p>② (豊岡) 対 H30 年度+13 百万円 H30 年度取得 血管造影 X 線透視診断装置等の減価償却開始</p> <p>③ (朝来) 対 H30 年度△21 百万円 梁瀬医療センター (増改築) の減価償却終了等△17 百万円</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 減価償却費率への影響を踏まえつつ、地域の中核病院として必要な投資を継続する。 																		
5 経営意識向上の取り組み	<p>(1) 経営危機意識の共有</p> <p>① 院長・事務長会議、管理会議 (各職種の幹部層が出席)、職種別会議等で、定期的に経営状況を発信し意識の共有を図った。</p> <p>② (豊岡) 重要戦略目標策定合同合宿開催 (H31 年 3 月)</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 経営状況周知を継続し危機的な経営状況に対する意識共有を図る。 																		
	<p>(2) 部署別行動計画・人事業務マネジメントの活用 (H28 年度導入)</p> <p>① 病院目標からブレイクダウンした部署目標については、引き続き部署別行動計画による目標設定・実行管理を行った。</p> <p>② 個々の職員については、引き続き人事業務マネジメントを活用した上位職者面談による対話機会を設け戦略の実行管理を図った。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 両制度の活用によって病院目標の実行管理を進めて行く。 																		
	<p>(3) 会計情報資料の分析・反映</p> <p>① (豊岡) 経営企画課によるベンチマークを活用した経営資料作成</p> <p>② (豊岡) 原価計算システム導入・調整 (R02 年度実稼働・分析開始)</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> DPC 分析システム、原価計算システム等により、診療科別収支の算出等、経営分析を推進し戦略立案に生かしていく。 																		
	<p>(4) 事務職員等の教育研修体系の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国自治体病院学会ほか学会、研修会等への参加促進 	○	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き病院マネジメント職員の育成に取り組む。 																		
6 構成市一般会計繰入金の適切な確保	<p>(1) 構成市と十分な情報共有や意思疎通を図り、但馬圏域に必要な医療を確保するための適正なルールに基づく繰入金の確保</p> <p>① 国の繰出基準に比べて未措置となっている項目について構成市と協議を行った。(R02 年度に継続協議)</p> <p>② 交付税措置年度と繰出年度を一致させる、新たな財政制度への対応など進めるため分賦金条例の改正を行った。</p> <p>③ 平成 29 年度に整備した高額医療機器等 (ダヴィンチ・MRI 等) 償還開始に伴う繰入金金の増 (対 H30 +442 百万円)</p> <p>[参考] [繰入金の趣旨]</p> <p>① 一般会計と病院会計との責任の明確化を図るため、地方公営企業法第 17 条の 2 で、一般会計から病院会計への繰出経費 (診療報酬で対応することが不適当な経費・困難な経費) を規定。</p> <p>② 規定の趣旨は、税で負担すべき経費と診療報酬で負担すべき経費を明確にすることにより、病院会計の一般会計への依存を断ち切り、公営企業として医療機能の向上、経営改善に努めることを求めたもの。 (繰入金はそもそも病院経営の状態 (黒字・赤字) に応じて交付されるものではないことを再認識させる規定)</p> <p>③ 法の規定を根拠に、繰出項目は地方公営企業繰出金通知で規定され、繰入金算定式は地方財政計画参考資料に記載。</p>	△	<ul style="list-style-type: none"> 繰出基準に基づく繰入について R02 年度に継続協議する。 																		